

たかぎ議会だより



年のはじめの伝統行事



議長あいさつ.....	P2	社会文教常任委員会.....	P8
予算決算常任委員会.....	P3	喬木村・喬木村議会による長野県の国への提言・要望活動...	P9
12月定例会 審議内容	P4・5	下伊那郡北部ブロック町村議会活動報告	
広聴委員会.....	P6	一般質問・次の村長に託される思い...	P10・11
総務産業建設常任委員会.....	P7	この村でがんばってます.....	P12



議長新年のあいさつ

議長 下平 貢

新年あけましておめでとうございます。

村民の皆さまには、令和8年の新しい年を健やかに迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。日頃より議会活動に温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年6月の改選では、議員定数を12名から10名へと見直し、新しい議会体制がスタートいたしました。本年は、その体制で迎える初めての新年となります。いただいたご信任を改めて胸に刻み、より丁寧で分かりやすい議会運営に努めてまいります。

また、本年は新年早々に村長選挙が行われる節目の年でもあります。議会だよりがお手元に届く頃には、新たな体制が見えている頃かと思えます。議会といたしましては、その新体制としっかり連携しつつ、必要な点には率直に意見を申し上げる「是々非々」の姿勢を大切に、村民の皆さまのために力を尽くしてまいります。

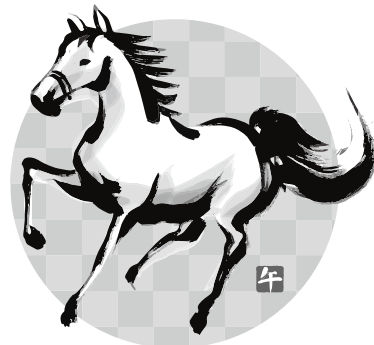
本村では、少子高齢化や人口減少に伴う地域の活力の低下や担い手不足など、さまざまな課題が深刻さを増しています。さらに、自然災害の増加や気候変動、デジタル化の進展など、暮らしを取り巻く環境も大きく変わっています。近年課題となっているクマ被害の拡大など、鳥獣被害対策についても重要な課題として受け止めています。

こうした状況をふまえ、議会としては、人口減少対策やコミュニティの支援、産業振興、防災・減災、福祉の充実、教育環境の整備など、幅広い分野で住民の皆さまの声を丁寧に伺い、より良い提案や議論につなげていく考えです。

対外的には、昨年も、県道上飯田線の改良をはじめ、村内道路の整備を進めるための要望活動を続けてまいりました。村内では、議会モニターの皆さまとの懇談会や、鳥獣被害対策をテーマとした「議員と語ろう会」、農業委員会の皆さまとの意見交換会など、多くの皆さまと直接お話する機会を大切にしてきました。今後も、こうした対話の場を広げながら、課題の解決につながる議論を深めていきたいと考えております。

米価の高騰や物価上昇など、暮らしに影響する厳しい状況が続いています。これからも、誰もが安心して暮らし続けられる村づくりのため、議員一同力を合わせて取り組んでまいります。

結びに、令和8年が村民の皆さまにとって健やかで実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



◆ 議会モニター募集 ◆

任期 令和8年4月1日から令和10年3月31日までの議会モニターさんを募集しています

内容は、本会議や委員会を傍聴したり、議会だよりや村のホームページの中の議会に係る部分を見て、議会等への要望、提言などを行うこと。

お気軽にご応募下さい。



3月20日(金) 締切



12月定例会において本委員会に付託された議案は、令和7年度喬木村一般会計、令和7年度喬木村国民健康保険特別会計、令和7年度喬木村後期高齢者医療特別会計、令和7年度喬木村介護保険特別会計の補正予算審査4件について12月4日に審査を行い、本委員会として全案件共に可決すべきものとした（質疑は15件）

■ 主な質疑



Q 地域おこし協力隊が企画するイベントやパンフェス等の継続と村の予算について

A 協力隊が企画したイベントやパンフェスは、出展料や広告料等で賄うことを前提に企画されており、村の予算支出はない。夜市等の企画は引き続き依頼していく。また、今年3月に開催されたパンフェスは来年も3月に2回目を行う予定で決定している。

Q 人口減少・高齢化が進む中、自治会運営等に苦勞している地域への協力（集落支援員等の登用）について

A 村として課題と認識している。役員・委員の人数見直しを実施済み。集落支援員の登用は、その地区の居住経験がないと役割を担うのは難しい面もあるが、自治会運営の事務やイベント作業で困難な地域から要望があれば、地域おこし協力隊や集落支援員など外部人材の活用をさらに進めたい。

Q マイナンバーカードのコンビニ交付サービス導入状況について

A 当初令和7年度中を目指していたが、令和8年度にずれ込む見込み。全国的にもコンビニ交付が普及しているが、戸籍を除く簡易版を導入する町村が増えており、喬木村も戸籍の広域交付と合わせ、簡易版の整備を令和8年度中に進めていく方針

Q 本年度新設の農業振興事業補助金の申請状況について

A 現在25名から申請があり、トラクター7件、乗用草刈り機7件、柿むき機3件、田植え機2件などへの利用がある。



Q 来年度からの小学校給食費無償化が検討されているが、給食の質を落とさないための村の考えについて

A 給食の質の水準は維持していく考えである。現在も給食費で足りない部分は村費で補填しており、子どもたちが楽しみにしている給食の質をしっかりと維持していきたいと思っている。

Q 中原共創施設完成後の管理方法について

A 民間事業者指定管理をお願いすることを検討している。指定管理は契約が3年から5年で、包括的な施設管理が可能であり、現在どの事業者指定管理をお願いするか検討中。施設の維持管理費は年間1,000万円ほどと試算している。



建設中の共創施設



旧喬木カントリー跡地

Q 民有地である旧喬木カントリークラブ跡地を村がアウトドア施設として取り組む経緯について

A 同クラブが使われなくなって10数年が経過しており、地域資源の活用と交流人口・関係人口の拡大のために、村にある資源をどう活用するか考えている。元々ゴルフ場だったため平らな部分が整備されており、資源を活用する方法として、中学校の提案授業でも7・8年前から毎年出していたアウトドア施設の活用を検討している。令和4年に総合計画の重点プロジェクトの中で関係人口拡大プロジェクトという組織が立ち上がり、旧クラブの活用について住民説明会や地権者の方々に了解をいただき、検討を進めているところである。

10分でわかる!

令和7年12月定例会 (議案審議・陳情)

令和7年第4回定例会の会期は、11月27日から12月23日までの27日間

原案 可決 した議案	喬木村水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について (議案第55号)
	喬木村一般会計補正予算(第3号)・国民健康保険(第2号)・後期高齢者医療保険(第2号)介護保険(第2号)各特別会計補正予算(議案第57・58・59・60号)
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第61号)
	特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第62号)
	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第63号)
	喬木村会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第64号)
	喬木村共創施設設置及び管理条例の制定について(議案第65号)
	財産の取得について(令和7年度喬木村共創施設備品等整備事業)(議案第66号)
	喬木村農村交流研修センターの指定管理者の指定について(議案第67号)
	喬木村さくらの園の指定管理者の指定について(議案第68号)
	喬木村一般会計補正予算(第4号)・介護保険特別会計補正予算(第3号)(議案第69・70号)
喬木村水道事業会計補正予算(第3号)・下水道事業会計補正予算(第2号)(議案第71・72号)	

陳情	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬の10%以上の引き上げを求める(陳情第2号)
-----------	--

発議	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬の10%以上の引き上げを求める意見書(発議第6号): 提出者 社会文教常任委員長 福澤 真理子	可決 →	意見書提出
-----------	---	-------------	-------

提出先	内閣総理大臣・厚生労働大臣・財務大臣・総務大臣	提出者	喬木村議長 下平 貢
------------	-------------------------	------------	------------

審議結果	可決	松島 りえ	清水 和文	小川原 美智穂	福澤 一成	福澤 真理子	櫻井 登	中森 高茂	後藤 章人	佐藤 文彦	下平 貢
		×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
	賛成=○・反対=×										

R7年度補正予算の主な内容

- 喬木村物価高騰支援商品券発行事業

1人 12,000円



※ 商品券を配布する
(福祉施設等、入所者を除く村民)

※ 商品券の利用期間は、R8.2~R8.6の予定

- 物価高対応子育て応援手当

こども1人当たり 一律 20,000円

水道料金改定を可決 5年後の経営収支均衡へ

5年間でこう変わる ⇒ 段階的改定の推移状況

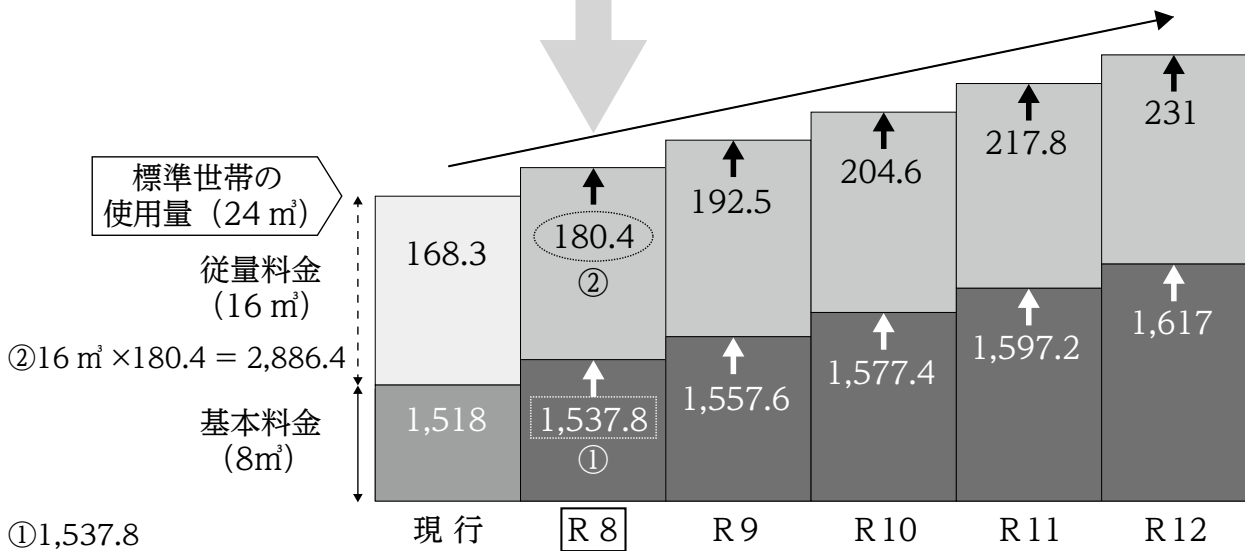
(例) 標準世帯；4人世帯の場合（※6m³×4人 = 24 m³として算定）（税込）

年次移行	現行	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
(24 m ³ 使用時)	4,210	4,424	4,637	4,851	5,082	5,313
前年比	—	(+214)	(+213)	(+214)	(+231)	(+231)

(単位：円)

毎年、料金単価が改定される
(1 m³当りの段階的料金単価)

経営収支の均衡



基本料金 + 従量料金 {(料金単価) × (使用量△△m³-8m³)} ⇒ ○,○○○.○ 円
 ① (1円未満切り捨て)

●ふるさと納税額 2億円 超え見込(4,000万円増額補正)



- ・返礼品 1,600 万円
- ・決済手数料等 230 万円
- ・サイト使用料等 720 万円

関係経費の予算計上 ⇒ [承認]

▶10/2 第1回議員と語ろう会!

- 有害鳥獣被害について、13名の出席者と被害状況・現状・課題・対策・要望・提案などの意見交換を行った。
 - ・猟友会が連携して活動をしている豊丘村と補助額の統一を望む要望。
 - ・猿にGPSなどの通信機器を活用して群れの行動を知り、対策をするのが良い。
 - ・農の仕掛けの継承できる環境作りが必要などの意見をいただき、有意義な懇談ができた。
⇒所管する総務産業建設常任委員会で今後の対応をすることとなった。

▶10/27 農業委員会との懇談会

- 農業委員会から14名のご参加をいただき、6項目の要望をいただき要望書の内容について懇談を行った。
 - ・城原で試験栽培している赤ソルガムが、耕作放棄地対策にもなりそうだという希望が持てる話を伺った。
信州ソルガムも10年かかったというが、将来南信州ソルガムor喬木ソルガムができると良いな。
 - ・親元就農者のみなさんへの支援が少なく、ご苦労して農業をされている現状を伺った。
⇒所管する総務産業建設常任委員会で今後の対応をすることとなった。



▶11/19 第3回議会モニターとの懇談会

- PRグループと20年後の具体的なイメージグループに分かれて、現状の課題の原因や影響を考えた上で、『魅力ある村を実現するため』の要望や手段などを、実現可能か、効果が期待できるか、本当に必要か、人口減少対策につながるか、様々な観点から具体的に掘り下げた。



*PRグループ

- ・ホームページの更新が遅い。欲しい情報が出てこない。⇒専門部署をつくる?!
- ・交流センター=人が集まるようになっていない。⇒規模を大きくしたらどうか?!
- ・人が寄る。集まって来る場所がある。⇒道の駅が必要?!

*20年後の具体的なイメージグループ

- ・観光資源がない。⇒低家賃の住宅を設けてベッドタウン化
- ・5年後、10年後に医院があるか。⇒地域において健康相談ができる医療体制を作る。
- ・関係人口を増やすことが大切。⇒工場誘致（働ける場所の確保）
- ・地域状況を調査。小さくても皆が集まれる地域を作る絵を描きたい。

◇今後の予定

社会福祉協議会との懇談会

日にち：令和8年1月29日
 時間：午後1時30から
 午後3時まで
 場所：防災センター2階
 （役場庁舎西）
 内容：現状と課題、要望

第2回議員と語ろう会！

日にち：令和8年2月12日
 時間：午後7時から
 午後9時まで
 場所：防災センター2階（役場庁舎西）
 テーマ：土地資源の有効活用

参加者募集中

第4回議会モニターとの懇談会

日にち：令和8年2月17日
 時間：午後7時30分から
 午後9時まで
 場所：防災センター2階
 （役場庁舎西）
 内容：分科会での提言書作り

12月4日、10時より総務産業建設常任委員会を開催し、村からの付託決議案1件について審査を行った。審議内容は下記のとおり。

また、12月の会期中に諸課題の対応について、喬木村長、喬木村議会議長名で国・県への要望、提言活動を行った。

付託議案 議案第55号

水道事業給水条例の一部改正する条例の制定について

【趣旨】

水道料金収入が微減傾向の中で、水道管からの漏水多発による修繕対応、施設整備に伴う減価償却費の発生、近年の急激な物価高騰の影響により各種経費が増加傾向により、令和2年度に赤字経営となり、令和4年度から赤字額が増大し、さらに今後耐用年数経過による給水管の布設替えが必要となり経費が増加することから、先5年間を見据えて、標準世帯で料金改定率25%前後値上げする条例改正です。

【質疑】、【討論】なく、全会一致で可決した。(5ページ参照)

国・県への要望・提言事項

【国】 国土交通大臣あて 三遠南信自動車道の建設促進及び地方道の更なる整備拡充・強化を求める要望書 提出

【県】 建設部長あて 県道改良整備等に関する提言書 提出

- 1、一般県道上飯田線 阿島橋の架け替え及び小川・下氏乗間のトンネル化によるバイパス整備を求めることについて
- 2、主要地方道下条米川飯田線 富田バイパスから国道256号間の拡幅改良整備促進を求めることについて
- 3、主要地方道下条米川飯田線 一般県道下久堅知久平線交点から弁天橋間の拡幅改良整備の早期完成を求めることについて
- 4、一級河川壬生沢川の河川改修整備推進を求めることについて



①一般県道上飯田線



②下条米川飯田線 富田バイパス



③下条米川飯田線 弁天橋境の沢川橋周辺



④台風時の増水した壬生沢川

令和7年第4回定例会 陳情1件の付託審査を行った。

陳情者 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子さん

長野県社会保障推進協議会 代表委員 宮沢 裕夫さん 他

陳情第2号

診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書

質疑7件 主な質疑と答弁

- Q 趣旨は理解できる。記書きの項目は一つになっているが、内容は3つと思うがどうか。一部は、政府が緊急の課題として対応を検討すると言っている中で、あえて出していくのか。
- A 言われる通りである。やると言ってくれていることもあるが、この準備の段階でははっきりしていなかった。どいう風になるかわからない。確実にやっていただけるよう上げてもらいたいと思う。
- Q 県医労連に加盟しているところはどこか。他の医療機関のことは考えられているか、全体を見ているのか。
- A 飯伊では厚生病院・日赤病院・健和会である。公的病院職員の給与は人勤に基いて支払われるが、公的病院も赤字と報道されている。他の病院も赤字と聞く。経営が大変になり、夜間・休日の2次救急も受けるのが困難という病院も出てきた。医師会の中で論議され、カバーし合って何とか今のシステムを維持しようという結果になったと聞いている。救急医療も経営の問題が大きく影響する。

討論4件 いずれも一部採択 ・主な討論

- ①趣旨は理解できる。来年度の改定と当面の支援策は国がやると言っている。進めていることはあえて上げなくてよい。報酬の10%以上引き上げの部分を採用し、一部採用とする。
- ②地域医療が大変なことになっている。病院も7割が赤字と聞く。国も補正予算を組むなど進めていることもあり、各報酬10%以上の引き上げ改定の実施の項目を採用するのがよい。

採決 ※一部採択に賛成多数 ➡ 結果 陳情を一部採択すべきものと決定した。

(※一部採択とは：複数陳情事項のうち一部を採用しそれ以外は不採択とすること)

請願の趣旨 要約

医療費削減政策が押し進められる中で公定価格である診療報酬は上がりず物価上昇にも対応していない。医療や介護・福祉従事者の賃金を他産業と同じように上げることは難しく、人員不足にもつながっている。医療機関は深刻な経営危機に陥っている。救急の受け入れや入院の受け入れを制限する病院が相次ぎ、開業医の閉院もおきている。このままでは医療機関がなくなり、医療にかかれぬ地域が全国でさらに広がるのが強く懸念される。

要望することは3つ

- ①2026年診療報酬改定と合わせ、一年前倒しで介護・障がい福祉サービス等報酬改定を実施すること
- ②全ての医療機関と介護・福祉事業所の物価高騰も含めて各10%以上の引き上げ改定を実施すること
- ③当面の支援策として、2025年度中に全額公費による賃上げ支援策を実行すること

喬木村・喬木村議会による 長野県・国への提言・要望活動

令和7年12月17日（県へ提言） 18日（国へ要望）

17日 長野県庁での要望活動

* 要望4項目は7ページ参照



栗林一彦 長野県建設部長

18日 国土交通省での要望活動

* 三遠南信自動車道の建設促進及び
地方道の更なる整備拡充・強化を
求める要望書

* 衆議院会館にて地元選出衆議院議員への要望活動



沓掛敏夫 国土交通省道路局長



宮下一郎 衆議院議員



福田淳太 衆議院議員

下伊那郡北部ブロック町村議会活動報告

(喬木村・松川町・高森町・大鹿村・豊丘村の5町村による県への要望・提言・陳情活動)

★北部5町村議会の県及び県議会への要望活動に対する県議会の回答結果報告

採 択	介護等職員の人材確保について（大鹿村議会）
	県道と町村道の管理の見直しについて（高森町議会）
	主要地方道松川インター大鹿線の防災事業の推進及び国道152号の通常通行の実施について（大鹿村議会）
	主要地方道飯島飯田線上片桐バイパス及び飯田以北の整備推進について（松川町議会）
	県道上飯田線交通アクセス改善について（喬木村議会）
	下伊那北部地区活性化に向けて「竜神大橋」の令和8年完成について（豊丘村議会）
継続 審査	児童虐待対応等における支援体制の強化と圏域単位での情報共有の構築について（高森町議会）
	子どもの放課後における居場所支援の充実について（松川町議会）
	県立及び私立高校入学時タブレット端末の公費による配備について（喬木村議会）
<p>継続審査とは：会期中に審議が終わらなかった案件を、閉会中や次の会期でも引き続き審査できるようにする制度です。議会には「会期不継続の原則」があり、会期内に結論が出なかった案件は廃案になるのが原則です。しかし、議会の議決によって「継続審査」とすれば、閉会中も委員会で審査を続けられ、次の会期にも引き継がれるという例外が認められます。</p>	



「地方創生移住支援事業」と 諸対策について

櫻井 登 議員



Q 移住相談件数が全国的に増えている。村は県の目標に連動して、移住相談者の想いに手を差し伸べ、移住対策を整備しておくと考えますが、村の見解は

A 国では、人口減少が進む中でも経済成長、地域社会を維持していくことを目指している。策定を進めていく村の総合計画・総合戦略についても、現状や今後の地域社会の構造をしっかりと見据える中で、効果的な移住定住施策や関係人口の更なる創出に向けた具体的な施策を盛り込んでいきたいと考える。

- 同事業の上乗せ対策について
- 小規模事業者育成支援「産業クラスター形成」について
- 移住促進手段のサポートシステムについて



子育て支援 子どもの 医療費窓口負担について

福澤 真理子 議員



Q 県内過半数の自治体が完全無料を実施。飯伊でも本年4月に北部2町村が実施に至り、過半数に。喬木村でも実施を

A レセプト件数を基に試算すると、新たに約300万円の財源を確保する必要があり、完全無料化は毎年の検討課題になっていた。県内で完全無料化の自治体が過半数を超え、村としても必要な時期が来ていると判断し、実施計画に子どもの医療費完全無料化を位置づけ新年度予算編成の中で詳細を検討する。

- 「非核平和自治体宣言」改めて非核平和を考えることについて



食肉処理場の必要性について

小川原 美智穂 議員



Q 食肉処理場の必要性をどう考えているのか

A 松本食肉処理場が2027年度末に閉鎖され、北信食肉センターや県外の施設へ輸送されることになると、輸送経費や時間等の影響が生じ、懸念されている。食肉の価格への影響もでる。畜産経営支援検討会議(仮称)の検討状況を注視するとともに、県や生産者団体の支援の取り組みも考慮しつつ、必要な対応を検討して行きたいが、状況は非常に厳しい。

- 次の村長に託される思いについて



地域住民の防災力向上に防災士 取得促進が必要ではないか

福澤 一成 議員



Q 本村の防災士資格取得の現状を踏まえ、費用や学習等の負担を軽減するための更なる支援の拡充について

A 防災士は平時の啓発や災害時の初期対応など、村では地域の皆さんと力を合わせて行動する防災士の役割がますます大切になると考えている。令和2年より取得のための補助制度を設けていますが、これまで4名の方が利用されており、今後は広報等で重要性和制度を積極的に発信し、村内のなり手を増やしたい。

- (仮称)喬木防災士会の設立が必要
- 避難所生活体験訓練の実施



阿島傘の振興と 受入れ体制の整備について

後藤 章人 議員



Q 阿島傘の視察・見学・製作体験等の申し込みが増えているが、阿島傘の会の負担軽減のためにも窓口の一本化はできないか

A 多くの部署で阿島傘の振興を図ることは大事であるが、阿島傘の会の皆様など受け入れる側としては、調整や連絡が複雑になり分かりにくいことで、負担があるのではないかと認識している。県の伝統工芸品に認定されたこともきっかけとなり問い合わせが増えてきているので、一本化も含めて検討していく。

- 旧北保育園跡地利用方針について
- 村民要望への迅速な対応体制の構築について
- クマ出没対策及び通学路安全対策について



農地等の鳥獣被害の状況 この対策について

清水 和文 議員



Q 農地の鳥獣被害の状況・防止対策 ■鳥獣被害への補填 ■有害鳥獣対策費補助金の増額及び対策実施隊員の確保対策等は

A 農地被害約547万円目標より低い。シカやイノシシ被害深刻、サル被害も甚大。クマの目撃情報は役場・警察署へ。サル捕獲の予算化検討。被害の補填はJA共済。猟友会への補助増額、対策実施隊員の経費補助充実検討。

- くくり罠及びイノシシ等の檻の個人購入する経費の補填はどうか。



デジタルトランスフォーメーションへの対応取組について

中森高茂 議員



Q 各課のDXへの対応事例と今後の対応取組について

A 総務課

取組：テレワーク推進

推進：デジタル技術等を活用しサービス維持

福祉課

取組：オンライン申請

推進：「介護情報基盤」の導入に対し、村が実施主体運用開始準備

産業振興課

取組：農地パトロール等導入

推進：スマート農業の推進、観光分野キャッシュレス決済

企画財政課

取組：電子決裁導入

推進：補助金活用で財源確保



喬木村消防団の担い手確保のための待遇改善の必要性について

松島りえ 議員



Q 地域防災を支える消防団の確保・定着には、待遇の充実が重要と考え村の見解を伺う

A 団員減少により一人当たりの役割や責任が増す中、報酬増額や手当支給については、他町村の状況や団員の意見を踏まえ調査研究を行い、消防委員会に諮りながら、必要に応じて消防団員の処遇改善を検討していきたいと考えます。

■消防団員数と担い手不足の現状は

■消防団広報とSNS活用方針は

3期12年 村民の安心安全な生活を思い村政運営をされてきた市瀬直史村長へ『次の村長に託される思い』を伺う。

小川原 美智穂議員の一般質問への村長答弁より

次の村長に託す思いとなると、相当重たくて、言いづらいが、私の時に何より嬉しかったのは、具体的にこれをこうして欲しいという依頼は一切無く、「お前の思う通りにやってみろ。人の言う事をしっかり聞いて、議会のみなさんと相談しながら前に進めてみる。」この言葉が一番ありがたかった。

これからリーダーを目指される方も、立候補される限りは思いがあると思う。その思いをしっかり前に進めていただく事ができれば、私としては本望である。

OB村長の方から「月月火水木金金24時間365日、喬木村の事を考えて頑張れ、励め」と言われたことがいまだに耳に残っている。

12年間やってきて、1番の思いは私が職員の頃から「多選は良くない。」というのは漠然と自分の中にあった。受けた時からゴールは長くても、3期12年と心の中に決めてやってきた。

そんな中で、これからの課題や思いは、みなさんと共通だと思っている。

みなさんが新しい家庭を築き、子どもを持ちこの地域に定住してもらうために、何が欠けているか。振り返って考えて、「ここに住んでよかったね。楽しくてよかったね。」と言える村づくりが肝要だというのがまず1点。

2点目は、リニア中央新幹線と三遠南信自動車道の工事が順調に進んでいるが、私が村長になった時にはちょうどルート発表があった時で、用地交渉もこれからと言う段階だった。12年経った今、そろそろゴールも見えてきた中で、取り組まなければいけないのは、これらの高速交通網をどう生かして地域づくりに繋げるかである。高速道路網にアクセスするインフラ整備も、開通が10年以上先になるので、しっかり時間をかけて良い計画を立てて整備しなければいけない。

それとあわせて、村の土地利用も一定の方策が決められる期間にして貰いたい。特に川が交通のネックになって、不自由を強いることになるので、ネックの解消にむけてずっと要望活動をしてきた。小川渡橋は着工したので、時間はかかるが確実にできてくる。もう1つは、1日の通行台数1万台を超える阿島橋の架け替え。阿島橋はリニアと三遠南信自動車道を繋ぐ肝になるので、就任以来県に要望をしてきて、調査費がついた。竜神大橋の工事が来年終わり、その後、天竜大橋の工事が完了して、次が阿島橋だとも言われている。調査費がついて県でどこに橋を架けるのが一番効率的に良いかを調査しているので、事業化の一手前まで来たと思っている。これも是非進めてもらいたい。

後は、持続可能な村づくりとして欠かせないのは、人口が減っていき、子どもが減っていく中で、喬木村の教育のあり方もしっかり検討してもらわなければいけない。どうした方法が子どもたちにとって最良の選択であるかをしっかり考えてもらえれば良いと思う。



今までと同じに

地域おこし協力隊 石松 裕敏 ひろとし

村民の皆さま、こんにちは。
日頃より温かくお声がけいただき、また地域活動へのご協力をいただきありがとうございます。

2024年4月から喬木村に着任し、村の皆さんと日々関わらせていただく中で、人のあたたかさや暮らしの豊かさに触れ、この村への愛着が少しずつ深まっています。

福岡県久留米市出身で、これまで「地域にある魅力を見つけ、人が集まるきっかけをつくること」をテーマに、各地でイベントづくりに携わってきました。長野県では、地域の食文化を軸にしたパンフェス「むぎかけ」や、夏のにぎわいを生む土曜夜市、県内外の人気店が集まる麺フェス「DONMEN」を企画・運営し、多くの来場者を迎える取り組みを行ってきました。

また、鳥取県中部ではコーヒーフェスタ「まめかけ」を開催し、県外からの来場者を呼び込むイベントづくりに携わってきました。

喬木村では、事業者さんや農家さんと一緒に、特産品のPRやイベントのサポート、中学生とのワークショップ、AIを活用した業務改善などに取り組んでいます。



地域おこし協力隊
福岡県久留米市出身



「村の中にある力をつなぎ合わせ、新しい価値を生み出すこと」を大切にしながら、実践的な活動を進めています。

今後は、これまで培ってきたマーケティングの経験とAI活用のノウハウを生かし、事業者の皆さんの売上向上や新しい挑戦に寄り添う「伴走型の支援」により力を入れていきたいと考えています。

喬木村が、関わる人が増え、何度も訪れたいくなる村になるよう、これからも地域の皆さんと一緒に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

議会日誌

10月

- 27日 農業委員会との懇談会
- 31日 飯伊市町村議員研修会

11月

- 19日 議会モニター懇談会
- 25日 北部町村議会議員研修会
- 27日 令和7年第4回定例会開会
全員協議会・議員全員協議会

12月

- 4日 各常任委員会
- 6日 定例会・一般質問
- 23日 定例会閉会・議員全員協議会

議会予定

1月

- 29日(木) 社会福祉協議会との懇談会

2月

- 9日(月) 令和8年第1回臨時議会
全員協議会・議員全員協議会
- 12日(木) 議員と語ろう会
- 17日(火) 議会モニター懇談会

3月

- 未定
令和8年第1回定例会開会
全員協議会・議員全員協議会
各常任委員会
予算決算常任委員会
定例会・一般質問
定例会閉会・議員全員協議会

前号までの
議会だよりは
こちらから



喬木村
ホームページ



ちいき本棚



あとがき

令和8年を迎え、新たに議員一名そして新村長の就任と議会も新しい風を感じています。

今年には「物事がうま〜くいく」「幸運が駆け込む」とした言い伝えもあり、午年の勢いを借りて未来へ駆ける議会として、改めて地域の声を力強く未来へつなぎ、より開かれた議会運営を目指してまいります。

また、これまでご協力をいただきました、議会モニターの皆様の任期も3月までとなり、心より感謝を申し上げます。今後とも温かいご支援をお願いいたします。
(福澤一成)

広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 中森 高茂 |
| 副委員長 | 福澤 一成 |
| 委員 | 松島 登 |
| 委員 | 櫻井 登 |